

令和4年度 自己評価結果

【幼保連携型認定こども園】 いさお幼稚園

本園の教育目標

進んで物事をやり、友達と仲良くし、
豊かな心をもったたくましい子どもに育てる。

本園が目指す幼児像

- ◎ 一人ひとりに愛情あふれる保育を。
- ◎ 集団生活の中で望ましい態度を。
- ◎ 豊かな情緒と思考力の芽生え。
- ◎ 最後までやりぬく強い心を。

本年度重点的に取り組む目標、計画

- ◎ 安全教育の徹底と基本的な生活習慣の形成
- ◎ 教員研修の継続的実践と資質の向上を図る
- ◎ 幼少連携活動を積極的に行い小学校への移行がスムーズに行えるようにする。

評価項目の取組状況と課題

評価項目	取組状況
保育の計画性	<p>教育課程の「安全」については職員間で共通理解をし、見直しをすることも多々あったので今後は再作成に取り組んでいきたい。</p> <p>保育目標については学期ごとに職員で共通理解を図る機会があるので十分達成されていると思う。</p> <p>しかし地域（学校、老人ホームなど）との交流が不十分なため今後計画に沿って目標を達成できるよう努力したい。</p>
保育のあり方 子どもへの 対応	<p>子どもが権利の主体であることを職員一人一人が意識し、職員の言動や対応について振り返り、子どもの人権や人格を尊重した関わり方を日頃からすべきことを職員間で確認、共有する。</p>
研修及び 資質能力の 向上	<p>主幹主任や学年リーダーなどのリーダーシップのもと話し合いが行われる中、特定の人意見のみで話が進められていくのではなく立場や職種などにかかわらず経験年数の浅い職員なども率直に意見が言える機会が確保できるよう指導していく。</p>
支援が必要な 子供の保育	<p>個々の関りを大切にし、家庭環境の把握や置かれている状況を理解し、その子どもや保護者に支援をした。</p> <p>個人懇談を定期的実施するとともに、行事などのアンケートを実施し、保護者の声やニーズの把握に努め園の考え方を示し改善すべきものはできるだけ改善した。</p>

今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
健康安全	職員一人一人が災害時に適切に対応できるよう役割を持ち、毎月様々な場面を想定し避難訓練を実施。今後は午睡時や食事中の訓練も積極的に行っていく。
教育の質の向上	ベテラン教員の指導力や中間的な役割の学年リーダーに頼ることの多かったいろいろな行事は、打ち合わせや学年会を重ねる中で、経験の少ない教員でも役割を受け持てるように職員が互いに認め合い、協働の意識を持ち取り組んでもらいたい。
発達支援充実	療育機関との連携を図る。 カウンセラーの研修を受け支援が必要な園児にも過ごしやすい環境の提供ができるようにしていく。 教育課程や指導計画と同等の計画の作成を求めるものではないが教育活動として適切な活動となるよう預かり保育のねらいや配慮事項を教職員全員が共通理解する。